

Special Focus

Aging, Health, Well-being and Care in a Time of Extreme Demographic Change

会期

2018年9月18日(火)～2018年9月19日(水)

開催場所

東洋大学白山キャンパス 8号館 8B11 (東京都文京区白山 5-28-20)

プログラム

9月17日(月)

9:30～11:30 前日イベント 六義園ウォーキング (参加費: 10 USD) (事前申込者のみ)

9月18日(火)

8:45～9:15 ●開会式

9:15～10:05 ●基調講演「多職種・他機関協働のためのコンピテンシー どのような技術価値 行動がインテグレイテドケアに求められるか？」(逐次通訳つき)
Dr. Robin Miller, Deputy Director, Health Services Management Centre, University of Birmingham, UK; Senior Associate of the International Foundation for Integrated Care

10:35～12:05 ●シンポジウム「地域福祉最前線」(逐次通訳つき)

シンポジスト: 古市盛久(株式会社 御用聞き)
飯田大輔(社会福祉法人 福祉楽団)
浦田愛(文京区社会福祉協議会)
山本美香(東洋大学)

モデレーター: 加山弾(東洋大学)

13:10～13:55 ●トークン・サークル

(新たなネットワークを作る場、部屋に分かれて自己紹介)

13:55～17:05 ●分科会(研究発表)

17:15～18:45 ●懇親会(軽食)

19:30～ ●ディナー オプション(参加費: 80 USD) (事前申込者のみ)

9月19日(水)

9:15～10:05 ●基調講演「世代間交流の促進による「三方よし」の地域づくり」
(逐次通訳つき)

藤原佳典: 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究部長

10:35～11:25 ●Joint Plenary Presentation - Prof. Gerd Naegele, The Technical University of Dortmund, Germany & Prof. Franz Waldenberger, The German Institute for Japanese Studies, Tokyo

12:55～16:55 ●分科会 ポスター発表 研究発表

16:55～17:25 ●閉会式

主催団体 Aging & Society Research Network

共催団体 東洋大学社会福祉学会

後援団体 文京区 / 北区 / 北区社会福祉協議会 / 一般社団法人日本老年医学会 / 一般社団法人日本社会福祉学会 / 日本地域福祉学会 / 日本介護福祉学会 / 介護福祉士養成大学連絡協議会 / 日本老年社会科学会 / 日本世代間交流学会 / 日本応用老年学会 / 日本認知症ケア学会

国際学会 Aging & Society : 8th Interdisciplinary Conference 2018

Special Focus

Aging, Health, Well-being and Care in a Time of Extreme Demographic Change

参加のご案内

2018年9月18日(火)・9月19日(水)に、東洋大学白山キャンパスで、Aging & Society 国際学会が開催されます。英語による学会です。

2017年大会はカリフォルニア大学バークレイ校で開催され、20ヶ国以上150人程の参加者がありました。2018年大会では4月末現在160の発表がアクセプトされています。学会員でなければエントリーできないと思われるかもしれませんが、どなたでも参加、研究発表ができます。皆さまのご参加ご発表を心よりお待ちしております。

ホームページ

<http://agingandsociety.com/2018-conference>

上記オフィシャルWEBのナビゲーションバーにある JAPANESE WEBSITE をクリックしていただくと日本語ページにリンクします。日本在住者の学会発表や登録方法について日本語でご案内しています。



演題締め切り

2018年8月17日(金)

- ① 学会発表形式には、口頭発表、ポスター発表等があります。
- ② 発表エントリーはアブストラクトを英語200ワードほどの内容で作成しエントリーしてください。

2週間程で主催団体による査読が行われます。アクセプトされた演題は、上記オフィシャルWEBのナビゲーションバーにある PROGRAM をクリックし、表示されたページの一番下にある List of Accepted Proposals から確認することができます。

参加費の支払いは発表が決まってからでも間に合います。

費用

日本在住者の参加費： 150 USD

日本在住学生の参加費： 100 USD

参加費には、昼食2日分、コーヒー等、懇親会(軽食)の費用すべてが含まれています。

(上記ホームページから、英語で参加登録してください。日本在住であることを証明するために、大学の所属機関証や学生証など写真掲載のIDカードをコピーしてスキャンデータをご用意ください。詳細は日本語WEBをご覧ください。クレジットカードでUSドルのお支払いとなります。)